

平成29年度第1回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要

1. 日 時：平成29年8月9日（火） 13:00～15:00
2. 場 所：石川県庁1109会議室
3. 出席状況：委員12名
4. 議 題：(1)いしかわ森林環境基金事業の主な取組実績（平成24～28年度）
(2)いしかわ森林環境基金事業の第3期（平成29～33年度）の取組内容
(3)環境林モニタリング調査について
5. 委員会議事要旨（委員の主な意見等）
 - (1)いしかわ森林環境基金事業の主な取組実績（平成24～28年度）
 - ・里山こども園推進事業は大変によい取組であるが、参加者が横ばいであり、抽選にもれることが多く、採択の枠を拡充してもらいたい。
 - 〈事務局〉今後、受け入れ人数の拡大や山に親しむような事業を新しく検討してまいりたい。
 - (2)いしかわ森林環境基金事業の第3期（平成29～33年度）の取組内容
 - ・建築士会では会員向けに冊子を発行しており、木造の非住宅建築の参考例などのパンフレット等をあわせて配布してはどうか。また、建築士にも森林や林業の現状を見学してもらえ取組を検討してはどうか。
 - 〈事務局〉冊子の関係については検討していきたい。また、建築士の皆様にも森林や林業の現状を見てもらえるよう検討していきたい。
 - ・木育や獣害対策等についてはインストラクター等の人材育成が必要であり、ソフト事業において、専門知識を有する人材育成をすすめていく必要があるのではないか。
 - 〈事務局〉森林環境税のソフト事業ではないが、フォレストサポーターの養成講座を支援しており、その中での対応についても検討していきたい。
 - (3)環境林モニタリング調査について
 - ・森林所有者として薬剤による竹の駆除法についての検討は是非ともすすめてもらいたい。
 - ・除草剤を使った竹の駆除法については、安全性について広範囲かつ長期に渡りチェックしていく必要があるのではないか。
 - (4)その他
 - ・森林環境税を県民がどれだけ理解しているのか分からないので、県民への認識を深めてもらう取組がもっと必要である。
 - 〈事務局〉ソフト事業に参画できる人数を増やすなど、様々な取組を通じて、税事業のPRを全力で進めて参りたい。
 - ・所有者不明の森林について、森林法の改正により林地台帳が整備されることになっていると聞いたが県の対応はどうなっているのか。
 - 〈事務局〉林地台帳は市町が整備することになっており、市町に対して支援していくほか、所有者不明の箇所については境界明確化などの事業を活用できるよう支援していきたい。